



OBAYASHI ROAD

計量装置搭載ダンプ 『スケールダンプ』

技術概要

積荷の計量装置を搭載したダンプトラックです。

積み込みながら積載荷重を直接計量することで、安全で効率のよい積み出し・運搬を実現します。



前側ロードセル



後側ロードセル

前側のロードセルは専用シリンダの上部に被せ、シリンダを少し伸ばして計ります



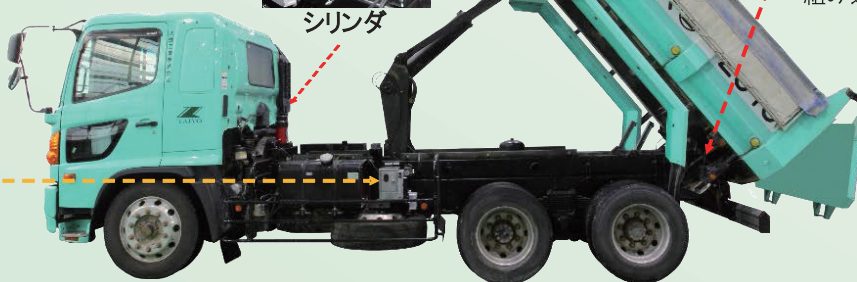
シリンダ

後側のロードセルはピン式で、荷台の工法の左右のヒンジに組み込んであります



基幹ユニット

計量用CPUやシリンダ
作動の基幹部です



技術の特長

- 体積計量と異なり、対象物の密度や形状の影響を受けません。
- 計量誤差は5%以下です。
- 低速走行(5~8km/h)しながら計量が可能です。

ロードセルで計測された積載物の重量を、ドライバーは運転席内で、積込作業員は外部表示計で逐次確認できます。



低速走行しながら(5~8km/h程度)計量可能なため、
積み込み作業を止める必要はありません



運転席の表示計



外部表示計



計量操作は運転席の操作スイッチで行います

大林道路株式会社

〒101-8228 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8

TEL 03-3295-8855

<https://www.obayashi-road.co.jp>